

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

福祉環境調査会記録

平成 28 年 5 月 12 日(木)
 全 員 協 議 会 室
 10 時 00 分～12 時 03 分

【委 員】 道下委員長、足立副委員長、柳楽委員、小川委員、森谷委員、平石委員
 澁谷委員、西村委員

【委員外議員】 串崎議員、原田議員、飛野議員、江角議員、岡本議員、牛尾昭議員
 野藤議員、岡野議員、芦谷議員

【議長団】 西田議長

【執行部】 川崎健康福祉部長、杉本地域福祉課長
 猪木迫地域医療対策課長、中田健康長寿課長、有福子育て支援課長
 宮崎市民生活部長、三浦医療保険課長
 埴総合窓口課長、原田環境課長
 吉永金城支所長、山田市民福祉課長
 田村旭支所長、佐々尾市民福祉課長
 細川弥栄支所長、小田市民福祉課長
 斎藤三隅支所長、夫田市民福祉課長
 河野上下水道部長、小川管理課長、岸本工務課長
 塚田下水道課長

【事務局】 外浦書記

議 題

- 1 執行部報告事項
 - (1) 平成 29 年度国県重点要望事項について
 - (2) 高齢者向け給付金について
 - (3) 平成 27 年度生活困窮者自立促進支援事業について
 - (4) 平成 28 年度島根大学医学部医学科『地域枠』及び市内看護関係各種学校の入学生の状況
 - (5) 高齢者人口等の推移について
 - (6) 浜田市の未就学児童の状況について
 - (7) 「子育て支援ガイド 平成 28 年度版」について
 - (8) 浜田市火葬場整備計画の見直し（案）の説明状況について
 - (9) 給水車購入事業について
 - (10) 浜田市下水道審議会の答申について
 - (11) その他
- 2 その他

【議事等の経過】

[10時00分 開議]

道下委員長

少々早いですが全員お揃いなので、ただいまより福祉環境調査会を始めさせていただきます。発言は必ずマイクを使用し、質問答弁は簡潔明瞭にさせていただきますようお願いいたします。議題はレジュメに沿って進行させていただきます。

各議題について執行部から説明の後、委員から質問を賜ります。

それと今日、澁谷委員さんは所用のため欠席ということですが、杉本課長は所用のため途中退席があらうかと思っております。そのことをまずご容赦いただきたいと思っております。

議題に入る前に4月1日付人事異動によって当該委員会における執行部の顔ぶれが新たになりました。昇進並びに新たに着任された方のみ、一言ずつご挨拶いただきたいと思っております。私から順次、お名前と役職名を申し上げますのでご挨拶をお願いいたします。

《 以下、新任担当者挨拶 》

今日の議題について、全協への報告事項を皆さんに諮りたいと思っております。その点についてもよろしく申し上げます。

それと森谷委員から、今日の調査会のビデオ撮影許可を願いたいという申し出がありましたが、議運でまた諮ってもらって、その後で私どもは結論出したいと思っておりますので、今日は勘弁していただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

1 執行部報告事項

(1) 平成29年度国県重点要望事項について

道下委員長

この件については、もう要望事項を終了しておりますので、全協の報告はなしということですが、ではよろしく申し上げます。地域医療対策課長。

地域医療対策課長

(以下、資料をもとに説明)

道下委員長

委員から質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

それでは、次の議題にうつります。

(2) 高齢者向け給付金について

道下委員長 執行部から説明をお願いします。地域福祉課長。
地域福祉課長 (以下、資料をもとに説明)
道下委員長 委員から質疑はありますか。
(「なし」という声あり)
それでは、次の議題にうつります。

(3) 平成 27 年度生活困窮者自立促進支援事業について

道下委員長 執行部から説明をお願いします。地域福祉課長。
地域福祉課長 (以下、資料をもとに説明)
道下委員長 委員から質疑はありますか。森谷委員。
森谷委員 社協が現金貸付ということを言われましたが、どのくらいの金額をどのような要件で、どのようなスピードでされるんですか。
地域福祉課長 緊急現金貸付事業というのがあり、原則 1 万円、無利子、保証人不要となっています。窮迫状態でもう小銭しかないといった方に向けたものです。それからその他の資金貸付には色々条件があるかと思いますが、緊急小口現金が 10 万円以内。これは県の社協の事業としてのものが緊急小口現金、生活福祉資金というのがあります。
森谷委員 浜田市の社協の事業で、民生融金貸付事業というのがあります。これが 5 万円以内です。
地域福祉課長 生活保護ネットワークのオフ会というのがある。いかにそういう寄附金を貰えるようにするか。悪い意味で言っているんですよ。そこで言うには、まず緊急の 10 万円を貰う、それから病院に行って鬱と診断してもらい、その後で生活保護の窓口に行けば非常に貰いやすいんだという話があります。少しはご存知でしたか。
森谷委員 何かニュース等で見たことはありますが、浜田市にそういう実態があるという所までは把握していません。
地域福祉課長 甘うございますけども。うちのアパートにそういう人が入っていて、その人から聞いたんですよ。あの人とあの人に会ってこういうふうに言われて、まずこうするんだと。だって私が今のような情報を知っているはずないじゃないですか。そういうことがあるので、そういう目でも見る必要があると思います。
森谷委員 ここは貸付金という名称なのでその後は返さないといけない。奨学金の問題なんかもありますが。実際に返ってきているんですか。

地域福祉課長 資金貸付の件ですね。当然返る見込みがある所での貸付というのが基本的な条件になっています。なかなか100パーセント回収というのは、色々な事情があるというのは聞いています。

森谷委員 その答え方だとかなりの割合で返ってきていると読み取れますが、割合はご存知だということですか。

地域福祉課長 社協さんの事業の中での資料や報告では聞いていますが、その割合が5割だったのか7割だったか、はっきりした所までは把握していません。

道下委員長 その他。

足立副委員長 相談者の実数は149名で、相談が1331件ですよ。ということは1人あたり平均的に8、9回程度の相談件数があったという認識でよろしいかをお尋ねします。

地域福祉課長 数はのべです。直接本人との関わりはもちろん含みます。それから家族さんからの相談があったり、そのことに関して関係先と色々協議したことも含めた件数になっており、その総数です。

足立副委員長 この相談者実数の149名の年齢構成を分かる範囲で教えてください。

地域福祉課長 全体を通したものでないので昨年度1年間の新規の方で見ると、一番少ないのは20代で、30代以上になると10人20人となっています。一番多い年代が40代50代という状況になっています。

道下委員長 その他ありますか。

西村委員 抽象的な質問になりますが、相談内容の内訳としてはかなり多項目にわたって分析されていて分かるんですが、事業の目的が「自立促進支援」ということなので、この事業によって自立が促進された、支援の意義があったという分析にはなっていないと思うんです。そのことがよく読みとれないんです。そういう分析を是非、市にも社協にもお願いしたい。この表を見て一番不満だったのは、去年報告があったこのページ右の囲み部分、例えば生活保護に繋がったものとして4件挙がっているんですがそういう記載がないし、関係先に紹介したのが何件、相談継続中が5件、相談のみ16件というような数字があるわけですよ。私はこれでもまだ不満だが、今年よりは去年の方が優れた報告だと私は思います。是非もうちょっと、事業目的に沿った中身の報告を工夫して欲しいです。

その上で聞きますが、保護に繋がった件数と就職に繋がった件数、この事業によって。多分把握されていると思うのでよろしくお願

地域福祉課長

ます。

少し報告書の項目が変わってしまい、昨年あったものが今年なかったりして大変申し訳ございませんでした。ご質問についてですが、相談に来られた方で被保護者になられた方は、26年度の8ヶ月では4名でしたが、昨年度1年間では8名ということでした。就労に繋がった方と言うと、モデル事業の8ヶ月では確か1人だったと思いますが、昨年度1年間では15人が就労に繋がりました。それから収入増になった方がその15人も含めて20人となっています。

道下委員長

その他、委員からありますか。

(「なし」という声あり)

それでは、次の議題にうつります。

(4) 平成28年度島根大学医学部医学科『地域枠』及び市内看護関係各種学校の入学生の状況

道下委員長

執行部から説明をお願いします。地域医療対策課長。

地域医療対策課長

(以下、資料をもとに説明)

道下委員長

委員から質疑はありますか。

柳楽委員

准看護学校についてですが、入学者というのは皆さん新卒者なんですか。

地域医療対策課長

新卒者とは限らず、年齢も上下あります。内容的なことは確認していません。

道下委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

それでは、次の議題にうつります。

(5) 高齢者人口等の推移について

道下委員長

執行部から説明をお願いします。健康長寿課長。

健康長寿課長

(以下、資料をもとに説明)

道下委員長

委員から質疑はありますか。

柳楽委員

高齢者の人口及び高齢化率などの推移の表の中の、独居世帯の中で介護施設等に入所されている方もこの中に挙がっているんですか。

健康長寿課長

介護施設も単身ばかりではありませんが、独居世帯で計上しているはずですよ。

道下委員長

その他。

森谷委員	人口の表に、5歳刻みだとか65歳以上だとかありますが、これを出すには1歳刻みの人口があった上での集計ではないかと思います。1歳ごとの人口がどのようになっているのか資料を要求しましたが、存在しないという回答でした。どの課長が担当か知りませんが実際はどうなんですか。
総合窓口課長	現在のシステムが導入されてからのデータによって、このような資料を作っています。システムが変わる前のものについては元データがありませんので、色んな資料を作りたいと言われても現時点では作成が出来ません。ただ、今まで資料として人口ピラミッド等、数字を把握して作っていますので、数字自体のデータはファイルとして残しています。ただ、全ての人口の、市民の方のデータは既にありませんので、恐らく担当が断ったものと思われます。
森谷委員	ということは、以前は生データが毎年存在していたということですか。
総合窓口課長	システムが移行した時に、一人一人の住民基本台帳データは既に廃棄したということで。集計したものは残しています。
森谷委員	だから、新しいシステムになる前は1歳刻みのデータが存在していたということで良いんですか。
総合窓口課長	はい、存在しておりました。
森谷委員	新しいシステム導入後の年については、1歳刻みでデータがあるということですか。
総合窓口課長	あります。
森谷委員	それを要求したつもりだったんですけどね。また窓口に行きますので対応してください。
道下委員長	その他ありますか。 (「なし」という声あり) それでは、次の議題にうつります。

(6) 浜田市の未就学児童の状況について

道下委員長	執行部から説明をお願いします。子育て支援課長。
子育て支援課長	(以下、資料をもとに説明)
道下委員長	委員から質疑はありますか。 (「なし」という声あり) それでは、次の議題にうつります。

(7) 「子育て支援ガイド 平成 28 年度版」について

道下委員長	執行部から説明をお願いします。子育て支援課長。
子育て支援課長	(以下、資料をもとに説明)
道下委員長	委員から質疑はありますか。
	(「なし」という声あり)
	それでは、次の議題にうつります。

(8) 浜田市火葬場整備計画の見直し(案)の説明状況について

道下委員長	執行部から説明をお願いします。環境課長。
環境課長	(以下、資料をもとに説明)
道下委員長	委員から質疑はありますか。
森谷委員	業者の意見が幅を利かせていると思います。業者にとっては頻繁なことかもしれませんが、我々にとっては年に1回もないことがあるし、浜田の火葬場に車で行くこともないですよ。三隅になったとしても年に1、2回がどう不便なのか。火葬場に行くのはかなり近い人ですが、不便さについて文句など普通は言わないですよ。私も親戚が亡くなって5月5日に火葬場に行きました。道が細いのは細いですがマイクロバスが運転するし僕は後ろをついて行くだけでそんなに不便ではないし駐車場も一杯あるし、中も思ったより綺麗でした。
	通勤通学なら不便という声に対応する必要があるかもしれませんが、年に何回あるか、何人が利用されるかということで。不便という声を拡大解釈して検討する必要はないと思います。三隅でも。その辺はバランス良く考えておられますか。声が大きい人の意見だけが反映されている可能性もあるんじゃないですか。
環境課長	ここに挙げている意見は我々がそのまま吸い上げてここにご報告させていただきますが、現在道が狭いというのは一部カーブ等があって先が見えにくい所があります。そういう所を少し広くすれば若干見通しも良くなる等があります。あと道路の表面がかなりでこぼこした箇所が何ヶ所かありました。それらを若干修正して、当面運用が出来ないかと考えています。また行政連絡員会議等で今後説明に入りますので、その辺の意見も吸い上げてまたご報告させていただきたいと思います。
森谷委員	日々吸い上げる意見というのは近所の人だと思います。狭くて危な

いとか。それなら毎日のことだから貴重だと思いますが、参列する側の意見はそれほど重要視しなくて良いと思います。業者は便利が良いに決まっていますから、ビジネスとして便利な方が良いと言うでしょう。そこまで拡大して聞く必要はないと思います。現実的なことも考えながら進めていただきたいと思います。

道下委員長
西村委員

その他。

自分でもはっきり覚えていないですが、以前この見直し案の説明があった時に私言ったような覚えがあるんですが、私が直接聞いたとかこういう要望や不満があるのではということではないですが、地元、それから西川病院あたりの意見は、直接聞く機会を設けてしっかり意見を聞いた上で、特に道の問題について聞いた上で、改修なりあるいはやらないという判断もあろうかと思えます。重要な判断要素にしていきたいなと思えます。

市民生活部長

前回説明した際に西村委員からいただいたご指摘はしっかり受け止めています。それがために行政連絡員会議で地元の方の代表にはしっかり意見を聞いています。道路の問題が出ていますが、市長も道路については何らかの手を施すべきだという意見をお持ちでして、道路管理者たる建設部の方でも何らかの対応をしたいと考えていますから、その時に西川病院を含めた現地の方にお話を聞いて、市が決定する際の参考にしたいと思います。これはあくまで「こういう考えだ」という説明なので、最終決断は近いうちに市長がされますから、その時には道路の問題も併せてどのようにするか述べられると思えます。充分把握したいと思えます。

道下委員長

その他ございますか。

(「なし」という声あり)

それではここで休憩とさせていただきます。11時5分まで。

[10時 55分 休憩]

[11時 05分 再開]

(9) 給水車購入事業について

道下委員長

執行部から説明をお願いします。上下水道部工務課長。

上下水道部工務課長

(以下、資料をもとに説明)

道下委員長

委員から質疑はありますか。

足立副委員長

この給水車を購入したと。先ほど想定出動回数の所で、漏水事故や断水等に伴う給水活動とありましたが、今年の断水の際に一番酷かったのは金城だったろうと私も思っています。金城中学校がなかなか通常の学習態勢に持っていけなかった、半日ほどの日が2、3日あったと私は記憶していますが、それはなかなか水道が出なかったというのも理由の1つになっていたと思います。例えばこれがあったとしたなら、そういう部分に対応出来る、車を買えば問題は解決できると水道部は認識されていますか。

工務課長

仰るとおりです。今考えているのが避難所や病院、学校等、最寄りの給水ポイントへ、例えば1トン級の組み立て式給水タンクを置いておいて、この給水車で各給水ポイントへ給水して回るといったことを考えています。今までの例だと給水車が1ヶ所にとどまって市民へ水をお配りするパターンは非常に効率が悪いということで、今言ったように組み立て式タンク自体は各給水ポイントに予め配置しておいて、それへ向けてこの給水車で給水する。すると中学校に限らず各避難所等にも十分な給水が行きわたると考えています。

足立副委員長

続いて、水道部も決して人員的に余裕があるわけではないので、例えばこのたびの災害時においても電話等に非常に苦慮された部分もあったかと思えますし、実際に電話対応や現場に出た時に本庁との職員の応援態勢の部分はこのたび災害で充分改めて確認されただろうと思いますが、これが購入されることによって職員さんの負担増になること、それから災害時の役所内部の体制がきちんと確立できるのかについて、今一度確認させていただきたいのですが。大丈夫という認識でよろしいですか。

工務課長

職員の負担増と言うか、災害時は皆苦勞するので負担増というかやるべきことはやらないといけない認識でおりますし、通常の小規模な漏水事故時は危機管理マニュアル等も作成していますし、役割分担も決めています。そのマニュアルに従って緊急時の対応は充分出来ると認識しています。

足立副委員長

最後にしますが、給水訓練も予算決算委員会でお話があったと思いますが、これを購入するにあたって今後各町内や学校等から水道部へ、是非一緒にやってくれというお話があれば、率先して対応していただけるという認識でよろしいですか。

工務課長

当然これは平時においても活用を図っていきたいと思います。各方

面にPRし、訓練等あれば一緒に参加させてくださいとか、逆にこちらから呼び掛けて行うことをやっていきたいと思います。

森谷委員　　この毎分320リットルは出す時の能力のことでしょうか。入れる時は普通の水道の蛇口から入れるんですか。どのくらいのスピードで満タンになるんですか。

工務課長　　320リットルというのは出す時です。入れる時はイメージとしては消火栓からは大量に一気に水が出てきますので、それでタンクに水を注水する。時間的には私も把握していませんが、非常に早く注水出来ると思っています。

森谷委員　　ということは金城に水を配りに行って、空っぽになったら近所の消火栓で一杯に出来るという認識でよろしいですか。

工務課長　　大きな災害時は水道管の水が止まっている状況ですので、最寄りの水源地での注水作業になるのかと思います。

森谷委員　　ピンと来ないんですが、水源地と言うと美川まで行くということですか。

工務課長　　各自治区に水源が複数個所あります。浜田自治区で言うと美川水源、黒川水源、国府水源の3ヶ所です。各自治区にも同様に複数の水源がありますので、最寄りの水源地で給水して回る格好になるかと思います。

森谷委員　　今ある黄色いプラスチックの2トンタンクありますが、あれも給水は同じですか。

工務課長　　同じやり方になります。

森谷委員　　ということはステンレスの最新給水車と、今までどおりの黄色いプラスチックとの2台体制になるということですね。

工務課長　　おっしゃるとおりです。

道下委員長　　その他ございますか。

(「なし」という声あり)

それでは、次の議題にうつります。

(10) 浜田市下水道審議会の答申について

道下委員長　　執行部から説明をお願いします。下水道課長。

(以下、資料をもとに説明)

下水道課長　　委員から質疑はありますか。

道下委員長　　審議会の答申の言うことを聞く必要がないのは知っていますが、こ

の10人以上いらっしゃる中で専門家と言われるのは3人くらいのもので、そこが少し不安です。今は災害を抜きにして何事も進めることは出来ない時代になりました。答申では災害についてどのように議論されたのか。鬼怒川の災害、阪神の地震、東北の津波地震、当時まだ熊本は起きていませんが、その辺を説明していただけますか。

下水道課長

今これと並行して整備方針も練っている状況で、その中でどうしても下水道整備をするには処理場を決めないといけませんで、その処理場について候補地である所を1ヶ所、審議会の皆さんにお示ししています。その中で「津波が来たらどうするのか」という意見はありました。どうしても津波が来た場合どうするかというと、防波堤のようなかなり高いものをするのはなかなか無理なので、ポンプや機械設備が津波の際に浸からない状態や、来ても早く復旧できるようなことを今から考えていくと、答申の中では話しています。

森谷委員

消防にも予防という課があります。そこだと思っんですよ。私も答申の時に議員は私一人だけ出ましたが、津波が来たら頑張っって早く回復させるとかいうのは精神論みたいな話ですよ。早く回復させるような設計をするなんていう所まで言ってませんでしたよね。ではその間、駅から松原湾までの右岸の汚物はどうなるのかということも一切話に出ませんでしたよね。そういう場合どうするんですか。考えておられないなら次に進みますけど。

下水道課長

先ほど言いましたように減災ということしか今は考えておりません。

森谷委員

日々食べた物がそこに残っていることも災害です。鬼怒川の際は下水道をどうしていたか、他所はどんな被害があっって復旧にはどうしたとか。教訓は下水道を作るんじゃなかった、合併浄化槽を増やすべきだったとかいう教訓があるかもしれないわけです。財務部長も、下水道完成率がいかにも先進市みたいに言っておられましたが、そんなことに惑わされる必要はないわけです。同じ綺麗な水が出るわけですから。先ほども、どのように希望者を増やすかというように、またここで金を使おうとされましたでしょう。その発想が分からないんです。希望者が8割以上集まった地域に計画を実行させるようにすれば良いじゃないですか。そうすれば余計なお金は要らないし、説得して回るエネルギーも要らないわけでしょう。その効率をもっと高めるには小さい範囲にするんです。合併浄化槽で言うなら大きな浄化槽くらいにするんです。そうしていけば真ん中辺で良いのが出来るんじゃないか

と。災害があっても自分の所で処理が出来ているわけだから、近所のお手洗いを借りるだけで済むかもしれない。松原湾が回復出来る程度に壊れる保証はないわけですから。津波が一番来る所でしょう、御便殿と近い所ですよ。もっと災害を現実的に考えてやらないといけませんが、災害に対する審議会のようなもの、水道部だけで考えることとか、それらをもっと真剣にやるチャンスは今後あるんですか。

下水道課長

おっしゃるとおり災害はいつ来るか分からないので、そのような対策は取らないといけないと思っています。対策を取るための会議も今から検討していかないといけないのではと思っています。しかし今すぐどうするかはこの場ではお答えできません。

森谷委員

現実的に災害に遭った所の情報を集めるのが先ではないですか。絵に描いた餅みたいな議論していても仕方ないですから。そのことを要求したいと思いますが。

下水道課長

現在、熊本震災の状況について関係業界の新聞等を見ていると、熊本の処理場 12ヶ所、大分県 1ヶ所が被災しています。しかし機能の一部が停止している状態なので、処理場機能としては確保されていると報道されています。また管路についてはマンホールの浮上、一部管の断裂等がありますが、これも正常なマンホールへバイパスを使ってポンプで圧送して運んでいるといった対策は取っておられると聞いていますが、おっしゃるとおり今後熊本震災が落ち着いた段階で、どのような対応をされたのか情報収集しようと思っています。

森谷委員

参考にすべきは熊本よりも東北だと思います。津波も来ますので。その時に浄化槽の被害はどうだったか。もし全部浄化槽だったとしても、浄化槽がぐちゃぐちゃだったというなら考えなおさないといけないし。先ほどの話だと壊れた所をバイパスで輸送したそうですが、それさえも必要なければ一番良いので。津波が起こった所をピックアップするのが現実的ではないかと思っています。

道下委員長

参考にしてください。

下水道課長

はい。

道下委員長

それでは、他にご意見は。

小川委員

答申を受けて、実際には浜田市としての整備計画を具体的に進めていかれると思います。審議会の中でも検討されたとのことですが、何年度くらいを目途にするか方向性は今の段階で出ているんでしょうか。

下水道課長

ご承知のように下水道整備事業はお金がかかり、財政負担もかなり

かかります。当面 10 年分を方針として示したいと思っています。

小川委員

その時の方向性を今回の答申に沿った方向で検討されるということで、今から進められるんですね。

下水道課長

審議会の議論を色々聞きつつ、片や並行しながら整備計画方針も考えていきます。この答申を受けてから整備方針を作るのではなく、少し遅れて方針を練っている状態です。

道下委員長

その他ありますか。

西村委員

6月に整備方針を示すとのことなので、要望的に質問、質疑をしておきたいと思います。今回答申ということで主に3点の柱があって、1番目が受益者負担金、3番目の接続率を向上させるための優遇策ということで挙げられています。現在進捗している国府処理区の負担金や優遇策との比較で、我々が判断出来るような資料を是非付けていただきたいと思います。私も調べたけど良く分からなかったんですが、例えば優遇策で、汲み取りから変えられる場合の約120万の内、1年目なら24万補助するというような施策はなかったように思います。私も記憶だけで言うのであれなんです。いずれにしても示して欲しいということと、そのことだけお尋ねしておきたいのですが。

下水道課長

浜田市では現在そういう施策はとっていません。他県で工事費に補助をすとか負担金をまけるとかいう施策は、最近多く見られます。

西村委員

補助はありませんか。

下水道課長

ありません。ただ、汲み取りからの上限24万というのは色々議論があります。今浜田市で合併浄化槽助成事業で補助金を出しています。5人槽だと33万2000円出しているんですが、この内3分の2が実質市の負担となっています。昨年の浜田自治区の合併浄化槽の補助金をいくら出したかというのを計算しまして、それを該当された個数で割ってみますと、実質市の負担が約23万ちょっとになるので、それと同程度くらいのものになっているということです。

道下委員長

その他ございますか。

(「なし」という声あり)

それでは、次の議題にうつります。

(11) その他

道下委員長

その他、執行部から何かあればお願いします。

(「ありません」という声あり)

道下委員長
森谷委員

委員から何かありますか。

大きく2つあります。1つは福祉避難所、もう1つは人口が減った場合の扶助費等の動向についてです。

まず1番目。4月に輪島市の視察に行った先が福祉避難所の先進都市だったんですけど、熊本地震の記事を見ると福祉避難所は機能していなかったと盛んに書いてありました。何故熊本は機能しなかったのかとか、浜田市は機能しない部分がクリアされているかが知りたいのですが。担当の方はこの中にいらっしゃいますか。

健康福祉部長

避難所と福祉避難所の設置に関しては、総務部で対応しています。我々の方で実際に経験があったのが、何年か前に大雨が降って介護を受けておられる方の避難が必要になり、原井小学校へ行ってもらって布団やベッドを回した記憶があります。今浜田市はいわみーる等へ福祉避難所とかしています。あらかじめそこに介護者用ベッドがあるとか、そこまではまだいっていないと認識しています。ですから議員がおっしゃったような事態が今後起きたら、浜田も似たような状況に現状はある気がします。

森谷委員

福祉避難所のイメージは、僕たち健康な人を1として介護認定を受けている人を3とすると、認定は受けていないけど正常に動けない人が2で、2の人のためのものが福祉避難所です。3は適した施設に運ばれて、1は自分で帰って、残るのが2という感じらしいです。輪島市の担当課に聞くと、協定があるのが全国の市の中で6割、マニュアルと訓練を実施しているのが1割しかない。訓練も実施せずに上手くいくはずがないから、今は聞ける状態ではないが訓練まで行ってなかったのではないかとっておられました。参考までに。

2番目です。まず人口減少で騒がれていますが、私が小学校の頃は日本の人口は8000万くらいで、1億になると食糧危機が起こると騒がれていましたがもう1億2000万です。それが下がってくると1億切ると騒ぎ始めています。8000万だった頃に1億越えたら大変だという話はどうなったんだと思います。一方、本当に人口が減ったら大変なのか、年金なら確かにピンポイントで大変なのは分かりますが、夕張市も12万くらいだったのが1万になって、財政調整基金を毎年2、3億積み立てている。何故それが出来るのか知りませんが。川本も合併に取り残されたと心配していたら何となく良くなってきています。合併前の弥栄や金城も今の浜田の5万7000人に比べるとすごく

小さい団体だったがそれなりにやっていました。松江が文句を言っていないかと言えば、松江も大変だ出雲も大変だと言うし、どんな所も一応大変だと言っています。実際に人口が減ったら財政的にはどうなのかくらい押さえておく必要があると思います。仮に人口が半分に減ったら扶助費も半分になるのか、その辺をおさえたいと思って広域にはもう聞いてあります。広域の場合は浜田の実負担は30億あるらしいです。30億のうちの固定費が10億、人口が増減しても関係ない。簡単に言えば市役所の掃除代は人口が多かろうが市役所が膨れるわけではないから。人口の推移で動くのが20億、半分になるとそれが10億になるから、固定費の10億と半分になる10億を足すと20億になって、人口が半分になると10億減るというように、ヒアリングした結果私がざっくりと組み立てたんですけど、そのくらいだということです。

本当は全部を知りたいんですが、ここには市民生活と健康福祉の部長さんが来ておられるので、部単位でざっくり今みたいな言い方で、人口が半分になったらどのくらい歳出が減るのか、分かれば。一般質問にも出しますがその助走として少し教えて欲しいんですけど。

健康福祉部長

健康福祉部の方で分かりやすい大きな事業で代表的なものを3つ概算でやってみました。介護保険、生活保護扶助費、保育所保育にかかる費用の3つ。この3つ全部、基本的には利用者や対象者が多ければ多くなるものですが、介護に関しては固定費等を計算に入れてやってみました。現状この3つのものに今年度当初予算ベースで約19億6000万円くらい財源を予定しています。各々利用者がおられて、3つの事業をざっくり7000人くらいの利用者と考え、議員が言われる人口が半分というのを利用者も半分と想定して、3500人くらいになった場合にどうなるかというのを計算してみると、先ほど行った19億6000万くらいが約9億円減額になって10億6000万くらいになるというのが、本当にざっくりした計算です。今言った中で先ほどお断りしたように生活保護だとか保育は、事務費や人件費といったものを計算に入れず、飽くまでもサービスの利用にかかる経費ということでざっくり計算していることをご理解いただきたいと思います。

市民生活部長

市民生活部は3課ありますが、それぞれ制度が全く違うので、福祉みたいに社会保障全般では答えられませんから、各担当課長に朝、森谷委員に聞きましたので大至急1時間でやらせますのでお答えいたし

ます。

医療保険課長

医療保険は主に医療費の関係になります。人口が半減とのことで年齢構成にもよりますが、現状の各年齢層がそのまま半減したという前提で申します。今うちの一般会計で約 21 億の予算を持っています。そのうち固定費、主には人件費ですが 2 億 2000 万くらいになります。もし半減した場合、医療費は単純に半減するだろうと。ただ人件費等については、やる事務は変わらないがボリュームは減るということで大体 3 分の 2 の人役で勘定しまして、現状 21 億 4000 万くらいですが、人口半減すると 11 億くらいになるだろうと試算しています。

環境課長

環境課も 3 係の中で見ると、全体の予算で言うと 13 億 6000 万程度の一般財源があります。試算の方法ですが、固定費部分と変動がありますが、その中で特にごみ処理施設等においてはなかなか減額が見込めない部分なので、そこは減額していない数字で括んでいます。試算は約 8 億程度になっていますので、差引 5 億程度と把握しました。

総合窓口課長

総合窓口課では戸籍住民基本台帳費ということで全体で 1 億 6600 万の予算です。この内、職員給与費が 1 億 2900 万ですが、これが大体 3 分の 2 程度に縮小できるのではないかとということで見込みました。それからあとは住民基本台帳費等の事務費ですが、これが全体の 7 割程度減少するものと見込んで、全体が 1 億 1200 万、85 パーセント程度になろうかと思込みました。

道下委員長

ありがとうございます。

森谷委員

今のを合計すると約 35 億になります。人口が半分になったことよっての交付税の減少というのが 20 億くらいになります。そうすると収入が 20 億減って支出が 35 億減るとことは財政的には 15 億余裕が出来るということになる。ということは、人口が減ったら大変だという根拠がない流布情報に振り回されている感がある。本当に人口が減れば大変だったら、それなりのことを僕も考えようと思っていますし、人口が減ったことでかえって財政に余裕が出来るなら、そんなことにお金使う必要ないのではと。増やすための対策に。そのように思います。皆さんも真剣に事実を見つめることから始めていただきたいと思います。先ほどの災害も、東北の津波の事実はどうだったか。事実が一番大切だと思います。それから折角の予算を使うのなら、減った方が良くないなら何か違う方法が出てくるのではと思うので、一生懸命皆で考えませんか。そういうことです。

道下委員長
西村委員

その他ありますか。

国保の運協の日程を教えてください。

(「今日です。資料等はこれまでのように配布させていただく予定です」という声あり)

道下委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

はい、ありがとうございました。では今回の報告事項について執行部から。

健康福祉部長

番号で申し上げます。1番はよろしかったですね、2番、4から7番が配布のみとさせていただきたいと思います。3番については一応個別の事業ですので委員会に報告させていただきましたが全協に報告までは考えていません。8から10番についてはいずれも全協で報告させていただきたいと思います。

道下委員長

委員の皆さん、いまのとおりでよろしいですか。

(「はい」という声あり)

ではそのようにさせていただきたいと思います。

以上で執行部に関連する議題は終了しました。委員の皆さんはちょっと残っていただきたいと思います。

《 執行部退席 》

柳楽委員さん、小川委員さん、森谷委員さんの御足労により、ペーパーで皆さんに配布しているこれを、私と副委員長が精査というかこれをもとに手直しし、また皆さんにご報告して意見を聞いてから、正式なものをと考えています。今度の全協までをリミットとして一応考えていますが、よろしいですか。

(「はい」という声あり)

ではそのようにさせていただきたいと思います。

それから、民生児童委員協議会……。これは皆さんに言うておくものですかね。

外浦次長

はい。民生児童委員協議会から懇談会開催の打診がありました。

道下委員長

それは委員会全体でね、保育園連盟等々のああいう式を頭に入れておけば良いな。わかりました。

次長が申されたように7月の予定で民生児童委員協議会との懇談会

が予定されているようですので、頭に入れておいていただければと思います。

他に私からはないですが、委員からありますか。

(「なし」という声あり)

あればまた私や副委員長にお伝えください。次長から何かありますか。

ありません。

ないですね。では長時間にわたってご苦勞でした。6月定例会も始まるのでよろしくお願ひします。

外浦次長

道下委員長

[12時03分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

福祉環境委員長 道 下 文 男